サルサ ハブ 取り付け説明

サルサでは、冒険の意識が人生をよりよいものにすると確信しています。自転車は乗り物という枠を超えて、まだ見ぬ場所や会っていない人々、そして素晴らしい体験へと導いてくれる素晴らしいものです。
製品を購入いただいたことに感謝すると共に、あなたの乗車体験がより良いものになることを願っています。
バイクで冒険を～サルサより

⚠ 警告：サイクリングには危険が伴います。自転車製品は熟練のメカニックによって取り付け、保守点検してもらうべきです。自転車並びにアクセサリの改造は厳禁です。全ての製品の説明書並びに製造メーカーのウェブサイト上の警告を含む情報に目を通し従って下さい。乗る前には毎回点検を、ヘルメットは常に着用して下さい。

ハブの互換性と用途

⚠ 警告：サルサのハブはラジアル組を想定して設計されていません。ラジアル組を行うことはホイールの破損を起こし、重傷や死を招く恐れがあります。

- ホイールは熟練のホイールビルダーに組み立ててもらうことを強く推奨します。しっかりとホイールを組んでもらうことが、ホイールとサルサのハブを長く問題なく使う最良の手段です。
- 乗る前には毎回必ずリアホイールハブの機能に支障がないことを確認して下さい。フリーホイールとつながる駆動系が機能することを確認し、何かしら支障がある場合使う前に直してもらう必要があります。直せる立場にない場合、購入店に伺って下さい。
- 新しいハブは内部のグリスが浸透していないのとシールが固定されていないため回転に高い負荷がかかります。

販売されるサルササイクルハブの構成：

- イネイブラー Frハブ：32H、ISディスク台座、135mm幅 10mmアクスル、オフセットブレーキ(2011-2013モデル用）
- ファットコンバージョン Frハブ：32H、ISディスク台座、135mm幅、9mmアクスル（2014～モデル用）
- ファットコンバージョン Frハブ：32H、ISディスク台座、142mm幅、15mmアクスル（2014～モデル用）
- ファットコンバージョン2ハブ：32H、ISディスク台座、170mm幅、10mmアロイアクスル
- マクラク３ハブ：32H、ISディスク台座、170mm幅、10mm スチールアクスル
- ファットコンバージョン2ハブ：32H、ISディスク台座、177mm幅、12mmスルーアクスル
- ファットコンバージョン2ハブ：32H、ISディスク台座、177mm幅、12mmスルーアクスル、XDフリーハブボディ

販売されるハブ用補修、アップグレードパーツ

- アクスルキット　イネイブラーハブ用（2011-2013）
- アクスルキット　ファットコンバージョンハブ用
- アクスルキット　マクラク3ハブ用
- 9mmエンドキャップ　ファットコンバージョンフロントハブ用（2014年～モデル用）
- 15mmスルーアクスルエンドキャップ　ファットコンバージョンハブ用（2014～モデル用）
- 12mmスルーアクスルエンドキャップ　ファットコンバージョンハブ用
- XDフリーハブボディ　10mmと12mmのエンドキャップ付き
- フォーミュラフリーハブボディ　ファットコンバージョンハブ用（シマノスプライン）
- フォーミュラフリーハブボディ　マクラク3ハブ用（シマノスプライン）

ハブパーツをアップグレードする場合、キットに付属のパーツを全て使うようにしてください。中には既存のパーツと見た目にそっくりなものがありますが、微妙な違いでも重要な役目を担うものが多々あります。アップグレードもしくはリプレースメントキットも付属するパーツを全て使うようにしてください。古いパーツの再利用、必要なパーツの取り付けミスは破損の恐れがあります。

サルサハブに使われているベアリング

イネイブラーフロントハブ（2011-2013）：15x8x7mm

イネイブラーフロントハブ（2011-2013）：15x8x7mm

ファットコンバージョン2リアハブ：17x30x7mm

マクラク3リアハブ：10x26x8mm

以下のキットはハブの補習用です：

- クイックリリースエンドキャップ　シマノスプライン用
- スルーアクスルエンドキャップ　シマノスプライン用
- アクスルキット　イネイブラーハブ用
- アクスルキット　イネイブラーハブ用
- スラムXX1 フリーハブアッセンブリ クイックリリース付、XX専用スルーアクスルエンドキャップ
- スルーアクスルコンバージョンキット　第二世代マクラクフレーム用（スルーアクスル変更用スイングプレート、177　x 12mm DTスイス製アクスル、スルーアクスルエンドキャップ　シマノスプラインフリーハブ用）

ハブのお手入れと整備

フロント並びにリアのホイールハブのお手入れは少なくとも年に1回行って下さい。過酷な状況下（土砂降り、泥道、雨中もしくは寒い環境下での運搬など）で使った際、フリーハブボディはより頻度の高いお手入れが必要です。ハブの定期的なお手入れは製品寿命を延ばし、長年に渡って最高の回転性能を発揮します。過度の圧力の水にさらされると（高圧洗浄機など）、水がハブ内部に深く進入する恐れがあり、このことはハブにダメージを与えます。また溶剤や洗剤の類いも使わないで下さい。常時摂氏0度以下の環境を走る場合、全てのハブに-40度まで適応するグリースで組み直すことを強く勧めます。

追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。

サルサ ハブ 取り付け説明

▲警告

サルサハブの自転車への取り付けには自転車の整備に関する深い知識とプロ向けの工具が必要とされます。この組み付けを行うに足りる正確な工具、知識がない場合はお近くのサルサ取り扱い店に持ち込んで下さい。適切なラックの取り付けが出来ないとコンポーネントの故障を引き起こし、それは重傷や死を引き起こします。自身で組み込まれた場合、熟練の自転車整備士に調整、点検を行ってもらうことをお勧めします。

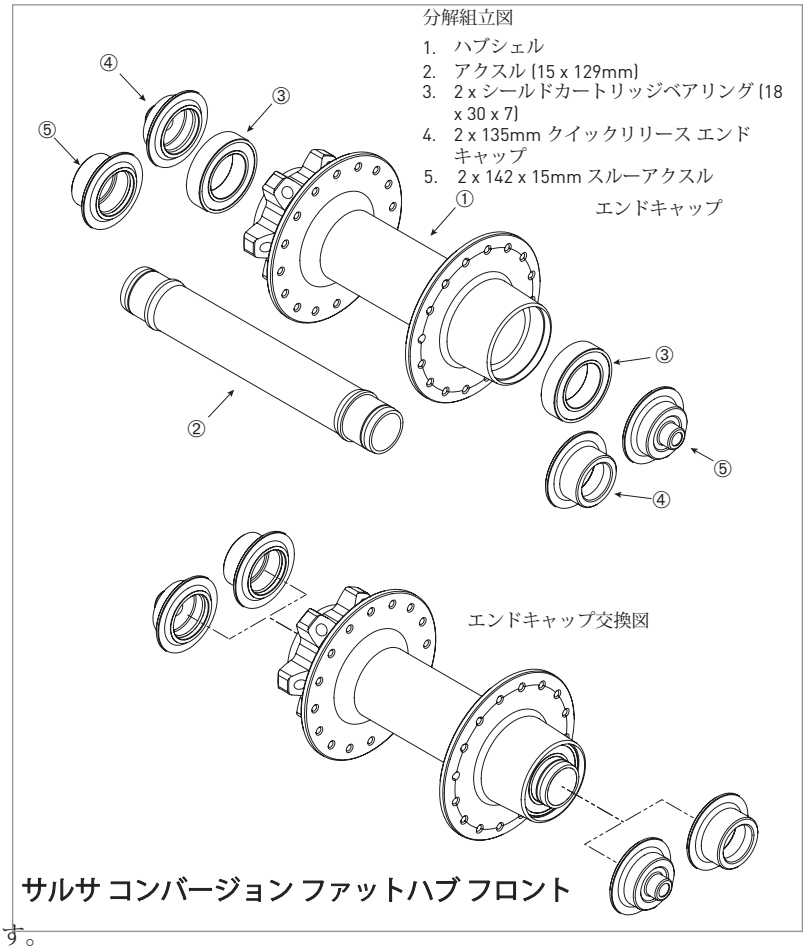
フロントハブ取り付け説明
（ファットコンバージョン＆イネイブラーハブ）

ファットコンバージョンとイネイブラーのハブは違いますがお手入れの方法は一緒です。

メモ：イネイブラーはスルーアクスルに変更出来ません。

ハブのお手入れに必要な工具と消耗品

- ショックレスハンマー
- ベアリング圧入工具
- ベアリング取り外し工具
- ポンチ（150mm）
- グリース
- チャンネルロック、プライヤー、ベンチバイスもしくは超強力な指



サルサ コンバージョン ファットハブ フロント

エンドキャップの取り外しと交換説明

1. クイックリリースもしくはスルーアクスルを取り除きます。
2. 外そうとするエンドキャップと反対側のフランジをしっかりと握ります。
3. エンドキャップを指で強く握りアクスルから取り外します。
4. 2-3の行程を反対側も行います。
5. ホイールに適切なキャップを取り付けます。アクスルの端にグリスを少量添付し、ベアリングにしっかりと接するまでキャップを押し込みます。

ベアリングのお手入れと交換

(イネイブラー用ベアリング6902、ファットコンバージョン用ベアリング18307)

ベアリングのお手入れには事前に「**エンドキャップの取り外しと交換**」の行程の1-4を行う必要があります。

1. ベンチバイスを1-1/2インチ(3.8cm)幅に開き、ディスクローター側のハブシェルをベンチバイスの固定具に設置することで、ローターと反対側のエンドを上にしてベアリングとアクスルが固定具に挟まれる形になります。コツ：固定具の先端をラグやテープなどで保護することでハブシェルの表面仕上げを守ります。
2. ショックレスハンマーを使い、ローターと反対側のアクスルの先端を真下に水平にたたき、ディスクローター側のベアリングをハブシェルから取り外します。
3. ローター側のベアリングを受け止める（取り除く）と、ハブシェルは固定力を失いバイス下方に落ちてきます。
4. ベアリング取り外し工具とポンチを使って、反対側のベアリングも取り外します。
5. ハブシェルを綺麗にしてから、再度ベアリングがはまる部分にグリスを添付します。
6. ベアリング圧入工具を使って、新しいもしくは手入れをしたベアリングをまずディスクローター側から入れます。.
7. アクスルを反ローター側から挿入し、圧入したベアリングの抵抗を受けるまで入れて行きます。
8. 駆動側のベアリングをハブシェルに設置します。アクスルをガイドにしてベアリングを真っすぐに挿入されるようにしてください。内径が18mmより大きく、外径が30mmあるスリーブもしくは深めのソケットを使って、ベアリングを圧入します。

エンドキャップの交換は「エンドキャップの取り外しと交換」の項のステップ5を参照して下さい。

追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。

サルサ ハブ 取り付け説明

リアハブのお手入れ説明
（ファットコンバージョン 170/177）

サルサ ファットコンバージョン リアハブに関する留意点と説明書

ファットコンバージョンリアハブは2種類のサイズで展開され、以下のクイックリリースもしくはスルーアクスル仕様で構成されています。

ファットバイク用〜66.5mmチェンライン

- 170 x 10 クイックリリース
- 177 x 12 スルーアクスル

上記アクスルに取り付けられるフリーハブボディのオプション：

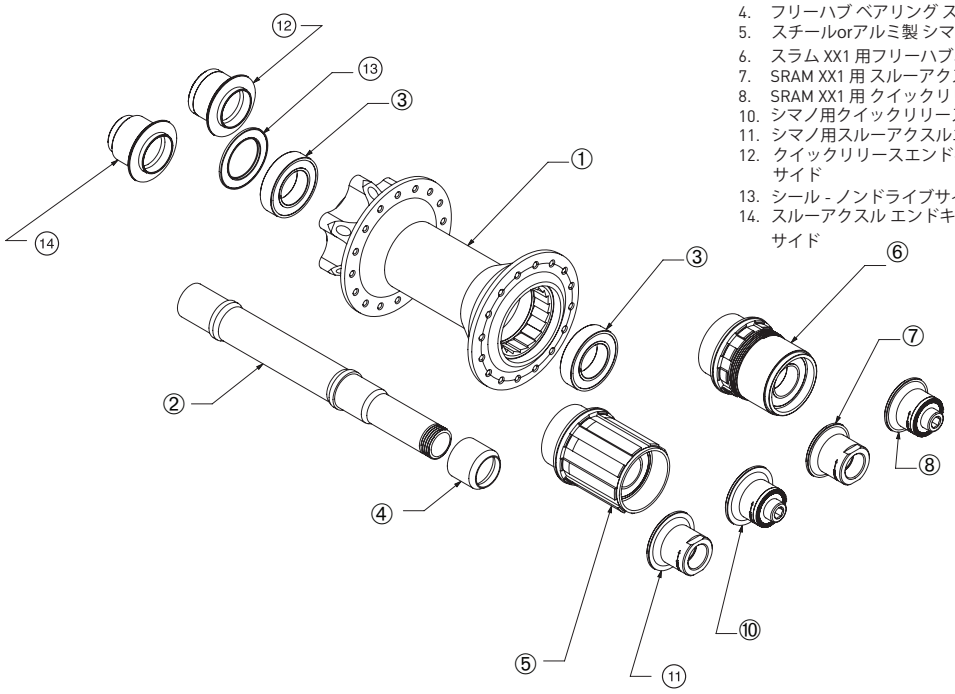
- スチール製シマノスプライン
- アルミ製シマノスプライン
- スラムXX1

必要工具

- 12mm　アーレンキーソケット
- トルクレンチ
- 5mm アーレンキー
- 17mm コーンレンチ
- ショックレスハンマー
- ベアリング圧入工具
- ベアリング取り外し工具
- ポンチ（150mm）
- 青色系の滑り止めコンパウンド
- グリース
- フリーハブ用グリス、潤滑油
- チャンネルロック、プライヤー、ベンチバイスもしくは超強力な指

サルサ コンバージョン ファットハブ - リア

1. リアハブシェル
2. アクスル
3. ベアリング 6903
4. フリーハブ ベアリング スペーサー
5. スチールorアルミ製 シマノ用 フリーハブボディ
6. スラム XX1 用フリーハブボディ
7. SRAM XX1 用 スルーアクスルエンドキャップ
8. SRAM XX1 用 クイックリリースエンドキャップ
10. シマノ用クイックリリースエンドキャップ
11. シマノ用スルーアクスルエンドキャップ
12. クイックリリースエンドキャップ - ノンドライブサイド
13. シール - ノンドライブサイド
14. スルーアクスル エンドキャップ - ノンドライブサイド



追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyまで

お手入れ説明(続き)

エンドキャップの取り外し:

1. カセットコグを製造メーカーの説明書に従いフリーハブから取り外します。
2. プライヤー、チャンネルロック、ベンチバイスもしくは指を使って、ノンドライブサイドのエンドキャップをアクスルから引き抜きます（図1）。**コツ：**エンドキャップに絶縁テープを巻くことでキャップが傷つくのを防ぐことが出来ます。
3. 12mmのアーレンキーを露出した反駆動側のアクスル先端に差し込みます。
4. 片手でアーレンキーを保持しながらドライブサイドのエンドキャップを印字されている"Loosen(ゆるむ)"の文字通り時計回りにまわして緩めます（図2）。**メモ：**駆動側のエンドキャップは逆ネジです。QRエンドは5mmのアーレンキー(図表示)を、スルーアクスルのエンドキャップは17mmのコーンレンチを使います。

エンドキャップの取り付け、交換：

1. 古いエンドキャプと新しいエンドキャップを分けておきます。**メモ：**スラムXX1用の駆動側のエンドキャップはシマノスプラインのものと構造が異なります。互換性がありませんので混ぜることの無いようにして下さい。
2. 駆動側のアクスル先端のねじ切り部分に滑り止めを添付します。
3. ノンドライブサイドのアクスルを保持しながら、ドライブサイドの新しいエンドキャップをエンドキャップに印字されている"Loosen(ゆるむ)"と逆の反時計回りに指でしっかりねじ込みます。メモ：ドライブサイドのエンドキャップは逆ネジです。
4. トルクレンチを噛ませた12mmアーレンキーをノンドライブサイドのアクスル先端に差し込みます（図3)。そしてクイックリリースエンドキャップは5mmのアーレンキーを使い、スルーアクスルエンドは17mmのコーンレンチ(図表示)を使って、12Nmのトルクで締め込みます。

フリーハブパーツのお手入れと取り替え

取り外し：

1. **上記エンドキャップの取り外しに従いエンドキャップを。**
2. エンドキャップを取り外したら、ハブのシェルをしっかりと握り、フリーハブのボディをしっかりと握って、ハブシシェルから軸方向に引き抜いて下さい。傷や損傷がある場合、フリーハブは全交換する必要があります。サルサはフリーハブ部分のスモールパーツを提供していません。
3. スチール製のフリーハブベアリングスペーサーをアクスルから単純に引き抜きます。
4. フリーハブのボディを綺麗にします。爪に傷や損害がないか注視し、爪のバネ動作を確認、ボディに圧入されたベアリングの動作を確認して下さい。傷や損傷がある場合、フリーハブは全交換する必要があります。サルサはフリーハブ部分のスモールパーツを提供していません。
5. ハブシェルとギアリングを綺麗にし、歯のすり減りや損害を調べます。ギアリングの歯に損害がある場合、ハブは交換する必要があります。ギアリングは取り外し、供給対象外の部品です。
6. ハブシェルに圧入されたベアリングが滑らかに動くか確認します。回転が渋かったり引っかかりがある場合、下記のハブシェルベアリングの交換の項を参照ください。

図 1

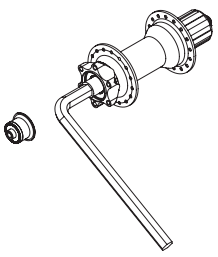


図 2

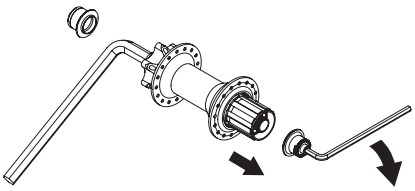


図 3

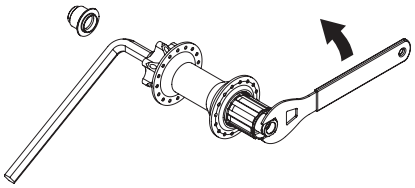
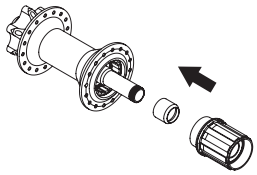


図 4



追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。

フリーハブパーツのお手入れと取り替え

取り付け：

7. 綺麗にしたハブシェル内のギアリング、フリーハブボディの爪に適量の新しいフリーハブグリースを添付します。コツ：常時-12℃以下で利用する場合、低温向けのグリスを使うことをお勧めします。
8. ベアリングスペーサーをアクスル上に差し込みます。（平らな方をハブシェルベアリングに突き当たるように、溝が切られた側をフリーハブに取り付けられたベアリング側に向けます）
9. 新しいグリスを添付したフリーハブボディを駆動側からシャフトに差し込みます。アクスル方向に軽く力を加えながら、フリーハブボディがギアリング／ハブシェルに完全に収まるまで反時計回りにまわし込んで行きます。コツ：指の爪もしくは小さなもの使ってハブボディの爪１－２個を押し込みながらまわし込んで行くことで、爪がギアリングに収まる手助けとなります。
10. エンドキャップに装着されているOリングが痛まないよう反駆動側のアクスルエンドに軽めのグリスを少量添付します（図7）。アクスルのくぼみにOリングがはまるまで、反駆動側のエンドキャップを手で押し込みます。
11. オーバーロックナット寸法の実寸を計り、アクスルとフリーハブがしっかりと機能していることを確認してください。
12. カセットコグを製造メーカーの説明書に従って取り付けて
13. エンドキャップの取り付けに従いエンドキャップを取り付けて下さい。

重要なメモ：フリーハブボディ内のベアリングは交換出来ません。ベアリングの交換が必要になった場合、フリーハブボディ全体の交換が必要です。

ハブシェルベアリングの交換

メモ：サルサのファットコンバージョンハブにはハブシェルに2つの6903{17x30x7}シールドカートリッジベアリングが使われています。

1. エンドキャップの取り外しとフリーハブのお手入れと取り替えの手順を踏み、エンドキャップ、フリーハブの取付品、フリーハブベアリングスペーサーをハブシェルから取り外して下さい。
2. ベンチバイスをおよそ2.5cm幅に開き、駆動側のハブシェルの端をベンチバイスの固定具に挟みます。固定具を挟んで駆動側が下向きに、反駆動側が上向きに設置されると言った具合です。コツ：固定具の先端をラグやテープなどで保護することでハブシェルの表面仕上げを守ります。
3. ショックレスハンマーを使って、反駆動側から下方水平にシャフト端をたたき、駆動側のベアリングを取り外します。コツ：左（反駆動側）のベアリングを先に取り外すことはお勧めしません。駆動側のエンドをたたくとエンドキャップ用のネジ山が痛んだり、アクスルのむき出しになった部分が曲がる恐れがある為です。
4. 駆動側のハブシェルベアリングを受け止め、固定力を失ったアクスルも受け止めます。
5. ベアリング取り外し工具とボンチを使って、反対側のベアリングも取り外します。
6. ハブシェルを綺麗にしてから、再度ベアリングがはまる部分にグリスを添付します。
7. ベアリング圧入工具を使って、新しいベアリング{6903}をまずディスクローター側から入れます。（図9）
8. ベアリング圧入工具を使って、ディスクローター側にベアリングシールを入れ直します。
9. 駆動側からハブシェルに段差部分がベアリングに当たるまでアクスル（12mmの先細っている方）を差し込みます。
10. 駆動側のベアリングをハブシェルに圧入します。アクスルをガイドにしてベアリングを真っすぐに挿入するようにしてください。内径が18mmより大きく、外径が30mmあるスリーブもしくは深めのソケットを使って、ベアリングを圧入します。
11. ステップ7-10のフリーハブボディの手入れ／取り替えを実行します。
12. エンドキャップの取り付けを実行します。

図 5

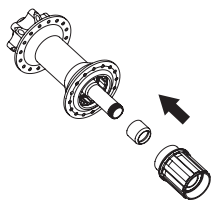


図 6

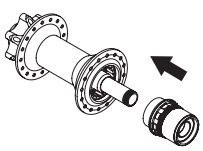


図 7

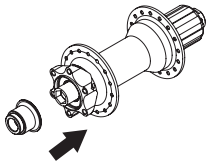


図 8

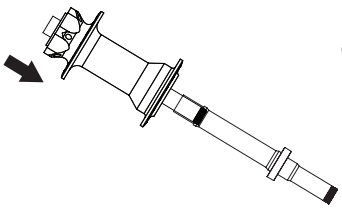
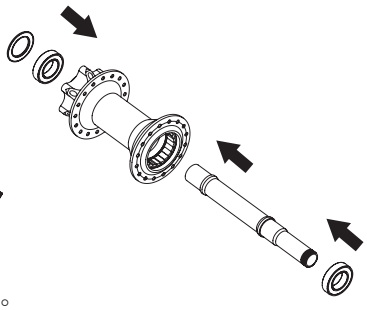


図 9



追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。

保証

サルササイクルはこの新しいサルサ製品に関して、消費者が小売店を通して購入された日から2年間、素材上もしくは製造上の欠陥が無いことを保証します。この制限保証はサルササイクルの裁量による唯一無二となるもので、対象となる製品の修理もしくは交換に明確に限定されます。この制限保証はサルサ製品を購入された最初の所有者のみに適用され、譲渡は出来ません。サルササイクルはいかなる損失、不都合、直接的、偶発的、間接的もしくは表示に対する不履行、黙示的保証、状態の結果として生じる損害、特定の目的のための適合性やここに述べられる以外の製品への考慮といった商品面に対しても支払いの義務を負いません。

この保証は以下については適用されません。

・間違った取り付け、追加の手入れ、もしくは技術、能力、経験不足による自身での取り付けによる損傷
・改造を加えられた、手入れをしていない、競技もしくは宣伝目的で使われた、不正使用もしくは悪用された、事故に巻き込まれた、その他通常使用以外の製品
・表面仕上げのダメージ、悪化、ペイントのダメージに限定されない製品の美的もしくは外観的要素
・通常使用での損耗
・自転車の組付けに際し取り外しや再取り付け、再調整にかかる費用
この保証は法律に基づく権利を侵害しません。またそれらの権利は他の権利同様地域によって異なります。

SALSA CYCLES
6400 West 105th Street, Bloomington, MN 55438
Tel: 877-MOTO-ACE Fax: 952-983-6210
www.salsacycles.com

追加の製品並びに安全情報はsalsacycles.com/safetyを参照ください。

1033 06/13